

## コロナからの決別

日本では一日当たりの感染者が 9 万人程度で、マスクが大騒ぎしているのに比べて、アメリカでは最盛期には 130 万人、フランスでは 50 万人、イタリアでは 20 万人という桁外れの患者が発生しています。ヨーロッパにおける感染者は今期中に 200 万人に達するだろうと言われています。

感染者は、一時は 1 桁台にまで減少したので、このままの数で推移して、やがてインフルエンザと同規模になれば、新型コロナウイルス感染症対策に関しては日本は優等生として卒業でき、私の予言も 100%的中したのですが、世界はそんなに甘いものではありません。

この問題は、オミクロン株という極めて特殊な株が発生したというWHOの発表から始まりました。「極めて特殊な株」という指摘を重症化と錯誤した日本政府は、入国時の検疫に重点を置き、当初は2週間の監視措置、飛行機内で陽性者が出た場合は機内の全員を濃厚接触者として隔離しましたが、その後陽性者のほとんどが無症状か軽症であることが分かったので、現在はこれらの措置を徐々に緩和しつつあるものの、患者数に拘ったあまり、最終的な決断ができずに、ずるずると、まん延防止等重点措置を続けている状態です。

私が以前から再三述べている通り、日本には「Xファクター」と呼ばれる特殊な要素があるために、かつてのスペイン風邪で示されたように感染症に対する免疫が強く作用するために、諸外国に比べると 1/100 程度の死亡率しかありません。

さらに、オミクロン株が強い感染力を持っていることは事実としても、大部分が無症状か軽症ならば、こんなに大騒ぎする必要はないと思います。現在の状態を見ると、確かに感染者は多いとしても、重傷者や死亡者はデルタ株の 1/10 程度です。従って、インフルエンザ並みの with Corona の時期に入ったと見なして、経済や社会活動を再開すべきだと思います。

世界の現在の状況を再確認してみましょう。この一連の新型コロナウイルス感染症による死亡者数はアメリカ 90 万人、ブラジル 63 万人、イギリス 16 万人、フランス 13 万人、ドイツ 11 万人。これに対して日本はわずか 1 万 9 千人にしか過ぎません。毎日数十万人単位の感染者を出している欧米諸国でも、日常生活を徐々に取り戻しつつあるのが現状です。

日本よりはるかに被害の多い欧米諸国は、コロナ感染症をインフルエンザ並みに格下げして、with CORONA の社会・経済政策をとり戻しつつあります。

アメリカでは不思議な現象が起こっています。バイデン政権(民主党)はワクチン接種に積極的です。これに対してトランプ支持者の多い南部各州では、接種義務化に猛反対しており、マスク着用についても消極的です。デルタ株蔓延時にはこれらの南部各州のコロナ感染者は多かったのですが、現時点における感染者数はニューヨーク、サンフランシスコ、ワシントン DC 等の民主党が勢力を持っている地区よりも、南部各州は患者数減少の傾向を示しています。

南部のプロテスタント系の強烈なトランプ支持者はワクチン接種もマスク着用も頑なに拒んで、大量の人がデルタ株に感染しました。その結果早めに集団免疫を獲得して、新規感染者が減少したものと考えられます。

アメリカやヨーロッパ諸国はすでに最盛期を超えて、患者数も減少の傾向にあり、急速に日常生活に戻りつつあります。

日本では、ワクチン接種率が 78.8%と非常に高く、3 回目のブースター接種も順調に進んでいます。オミクロン株は感染力は高くても、無症状か軽症で重症化や死亡率が極端に低いことを考えれば高齢者や基礎疾患を持つ人に十分配慮しつつ、with CORONA としての日常の社会・経済生活に復帰すべ

きであると考えます。

政府として、専門家集団の意見に従って、確固たる信念を持って、この新型コロナウイルス感染症を、現在の感染症第 2 分類からインフルエンザ同様の感染症第 5 分類に改定して、社会生活をコロナ禍以前の正常な状態に戻すべきだと思います。

なお、NHK をはじめマスコミ全般にも、この感染症に対するマンネリズムにも似た報道と誇張に満ちた表現を自粛するような規制を行うべきです。毎回のニュースで、今日は何千人とかいう数字を挙げて、いかにも大事が起きているような報道は、あおり運転と変わらない行為です。どうしても数字を述べたいのならば、必ず諸外国の数字と対比して、日本が如何に少ないのかという現況を公正に対比して発表すべきです。

国民は明るい前向きな報道を望んでいます。政府もそのような方向に業界を指導すべきだと思います。万一オミクロン株に罹っても、大部分の人は無症状か軽症で済むのです。鼻水が出る、喉が痛い、そんな軽い症状で重病人扱いにして、社会生活から隔離しているのです。そんなに軽い症状のみで免疫がつくのならば、積極的に感染するようにして、集団免疫を得よう・・・というギャグすらでています。

現況では、患者と接触した人は、一般社会から隔離されます。鼻水が出ただけで、強制的に隔離されるのです。

私がお世話になっている訪問看護の事業所では、保育所で陽性者が出たために、同じ集団の子供の親である数人の看護師が職務に付けられないという異常な状態が続き、非常に困っていると聞きました。看護師はエッセンシャル・ワーカーであるだけに社会的影響は極めて大きいのです。保育所で他人の子供が鼻水を出すことが原因になって、看護師が集団欠勤したために医療崩壊を起こす・・・現実に起こっている冗談のような真実です。

日本人にとって、コロナウイルス感染症は、インフルエンザ同様の重症率と死亡率しかない、第 5 種感染症に過ぎません。政府は早急にその決断をして、一日も早くコロナから決別して、正常な生活に戻すべきです。